



「森里海ひといのちめぐるまち」の 実現を目指して ～産学官民が連携した生ごみの再資源化～

宮城県南三陸町

取組紹介

南三陸町は「森里海ひといのちめぐるまち南三陸」をまちづくりのコンセプトに据え、2015年に生ごみやし尿汚泥を電気や液肥に変換するバイオガスプラントを開所し、域内で資源が循環する取組みを開始しました。多くの住民に参画いただくために、産学官民が連携してさまざまな施策を実施しています。一部の施策は行動経済学やICTなどの最先端の知見や技術を活用しています。



実績

バイオガスプラント開所前は年間4,607トンの可燃ごみを焼却処分していました。また、南三陸町には可燃ごみ処理施設がないため、近隣自治体に年間約8,000万円を支払い可燃ごみを処理していました(平成19年実績)。現在、年間約1,770トンの生ごみやし尿汚泥を再資源化し域内で循環させています。また、住民の環境問題に対する意識の変化もあり、可燃ごみ処理費も年間約5,300万円と大きく減少しています。(令和2年実績)



Webサイト <http://www.town.minamisanriku.miyagi.jp/>

Facebook <https://www.facebook.com/town.minamisanriku>

